

採択日: 平成 26 年 11 月 7 日

2014 年以降の RCE と ESD に関する岡山宣言

持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点 (RCE) のグローバル・ネットワークは、岡山市で開催されたグローバル RCE 会議において、トンヨン宣言のコミットメントを再確認し、「国連持続可能な開発のための教育 (ESD) の 10 年」以降も ESD に関するグローバル・アクション・プログラムを含め、ESD に関連する国際的なフレームワークを支援するため、ここに新たなコミットメントを宣言します。

RCE は、社会的包摂と地球上の再生可能範囲内の公正な経済の実現の貢献を通じた組織的な変革を目指しています。RCE は教育・研究・政策・実践の接点において変革を探求し、持続可能なコミュニティ形成のため、ESD に関するグローバル・アクション・プログラムの優先事項である「政策の推進」「学習・研修環境の整備」「教育者の能力向上」「若者のエンパワーメント」「地域レベルでの持続可能なソリューション」の促進を行います。

これまでの 10 年間、RCE のグローバル・ネットワークは、ESD に関する活動間の連携を推進してきました。その道のりは、RCE のビジョンと地域性に即した ESD プログラム、また地域を越えた相互尊重と支援のもとに築かれてきました。RCE のグローバル・ネットワークは、先住民の知恵や伝統知を尊重しながら、ESD 推進に尽力します。国際的な相互依存の認識を持ち、RCE は持続可能な開発目標 (SDGs) を念頭に置き、時間や場所という境界を超えて ESD を推進します。

RCE のグローバル・ネットワークは、フォーマル教育とノンフォーマル教育の ESD における更なる役割と、「国連 ESD の 10 年」とそれ以降の RCE の変革における貢献を認め、他者を社会の一員として思いやり、多文化的・社会的・政策的・経済的環境の変化を目指すコミュニティおよび多様なステークホルダーの活性化に向けた活動の推進と主流化、拡大に尽力します。RCE は研究開発において特有の能力・資質をもつマルチステークホルダーからなるネットワークを構築し、革新的で民主的、また常に発展し続ける参加型のガバナンス・システムをもつことで RCE としての任務を果たします。

この岡山宣言の採択にあたり、グローバル RCE コミュニティの全てのメンバーは RCE 活動の任務と志を支持するとともに、ESD の長期的目標の達成を目指し、環境管理・社会的公正・あらゆる面における生活の質の保護・向上など、地域・大陸レベルでの様々な持続可能性に関する課題への運営的・戦略的クラスターおよび取り組みを通じて貢献することを宣言します。